



※この丸で囲んだ結合は「チオエステル結合」と呼ばれる。

■右上の図の下の部分、エピキューティクルに結合している「C=O」の「C」が1番目の炭素(C)になる。その上が2番目、さらに3番目、4番目と数えていくと、18番目の炭素に「メチル基」が付いている。

■18番目の炭素(C)にメチル基が付いているので「18メチル」となる。

■その18番目の炭素(C)を乗り越えて、一番の上までの炭素の数は20個。「エイコサン」とは「20」のことで、炭素(C)が20個あるということで、「エイコサン」となっている。

■ただし、メチル基の中にも炭素(C)があるので、実際の炭素数は21個である。